

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年10月29日～11月4日)

平成 27 年(2015 年)11月6日

H E A D L I N E S

## 政治

大統領府, 11月12日に国会を初召集することを発表  
ドゥダ大統領, ルーマニアを訪問  
NATO東方諸国首脳会合開催

## 経済

現政権の予算案修正  
収入の1割が暖房費に  
10月のPMIは52.2ポイント  
LOT, ワルシャワ空港に乗り継ぎデスク設置  
世界最大級のエンジン研究開発施設がワルシャワ近郊に建設  
10月の新車登録台数は上昇  
タウロン社CEO, エネア社及びエネルガ社との合併の可能性について言及  
環境省, 鉱物資源白書を発表

## 大使館からのお知らせ

ポーランド独立記念日の行進に関するお知らせ  
ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起  
大使館広報文化センターの開館時間について  
東日本大震災義捐金受付について  
文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内 政

大統領府、11月12日に国会を初召集することを発表【11月5日】

5日、サドウルスカ大統領府長官は、ドゥダ大統領が11月12日に国会(上下両院)を初召集する決定を下した旨を発表した。憲法の規定によると、国会初召集後14日以内に、大統領による首相候補の指名、

首相候補による組閣、大統領による内閣の任命が行われる予定であり、遅くとも11月26日までに新内閣が発足する見通しである。なお、新内閣は発足後14日以内に下院の信任を得る必要がある。

## 外交・安全保障

ドゥダ大統領、ルーマニアを訪問【11月3日・4日】

3日及び4日、ドゥダ大統領は、ルーマニアを訪問し、ヨハニス大統領と首脳会談を行い、主に二国間関係、安全保障情勢、エネルギー情勢、ウクライナ情勢及び難民問題に関する意見交換が行われた。

ア、ブルガリア、バルト三国)首脳会合が開催された。ロシアの攻撃的な姿勢への懸念、国際法遵守の重要性、中・東欧地域における強力かつバランスの取れたNATOプレゼンスの必要性等を訴える内容の共同声明が採択された。ドゥダ大統領は、同会合後に、我々はNATOワルシャワ首脳会合における(NATO東方諸国の安全保障強化に関する)更なる決定に貢献するための結束及び決意を示した旨述べた。

NATO東方諸国首脳会合開催【11月4日】

4日、ブカレストに於いて、ルーマニア及びポーランドの共同主催でNATO東方諸国(V4、ルーマニ

## 経 済

## 経済・財政政策

現政権の予算案修正【11月2日】

現政権が作成した2016年予算案に示されたマクロ経済指標は「脅威である」と「法と正義」(PiS)のコヴァルチック議員が発言。PiSは政権公約実施に向けて予算案を修正する予定だが、経済を専門とする同議員は前政権が設定したGDP成長率3.6%と消費者物価指数(CPI)1.7ポイントは脅威であり、特にインフレは現時点では現実的ではないと発言。

収入の1割が暖房費に【11月3日】

Lion's Bankの報告書によれば、平均的なポーランド人は収入の10%を暖房に費やしており、これはEU平均の6.3%を上回る。同社は、これは地理的要因に加え欧州で22番目と低いポーランドの賃金水準によると分析している。ポーランドを超える暖房費を支出しているのはチェコとスロバキアだが、燃料はチェコはガス、スロバキアは電力が一般的であり、ポーランドの石炭はそれに比べれば安価とのこと。

## マクロ経済動向・統計

10月のPMIは52.2ポイント【11月2日】

Markt Economics社によれば、10月の購買担当者景況指数(PMI)は9月の50.9ポイントを上回り5

2.2ポイントになった。好景気の指標である50ポイントを超えて13か月目となる

## ポーランド産業動向

LOT、ワルシャワ空港に乗り継ぎデスク設置【11月4日】

国営ポーランド航空(LOT)はワルシャワ・ショパン空港にエコノミークラス用20、ビジネスクラス用10の乗継支援デスクを設けるとツェレイエフスキCEO代りが4日に発表。LOTは2020年までに乗客数を年間1千万人まで増やすことを計画しているが、5日に乗務員組合が賃金値上げを宣言、ただし運航は予定通りとのこと。

世界最大級のエンジン研究開発施設がワルシャワ近郊に建設【11月3日】

航空機タービンエンジンの研究開発に関する産学コンソーシアムであるPolonia Aero社は、ワルシャワ近郊のZielonkaに世界最大級の航空機タービンエンジンの研究施設を建設した。建設に要した額は約2.3億ズロチ、その約8割はEU基金による。同研究所では、既に来年にボーイング777世代で使用されるタービンエンジンの試験を行うことが決まっている。

**10月の新車登録台数は上昇【11月4日】**

自動車市場調査会社の Samar によると、2015年10月のポーランドにおける新車(乗用車及び商用車)

登録台数は、前年同月比2.83%増となる34,013台であった。前月日では6.23%の増加であった。1-10月までの合計は、前年同期比6.13%増の329,225台であった。

## エネルギー・環境

**タウロン社CEO、エネア社及びエネルギー社との合併の可能性について言及【11月2日】**

タウロン社のクレラCEOは、インタビューの中でエネア社・エネルギー社との合併について、最も楽観的なシナリオ、と述べた。同CEOは三社が合併した場合、PGE社に匹敵する規模になることや、それぞれが計画している投資についても共同での実施が可能となると述べている。また、買収したBrzeszcze炭鉱に関し、同鉱山の黒字化に向け2億ズロチ以上の投資を行う計画であることも強調した。

**鉱物資源白書を発表 - 環境省【11月3日】**

環境省は、国内の鉱物資源の埋蔵状況及びそれらの保護に関する白書を公表した。同白書では、資源を保護するための方策として、現在の制度を維持するものから、特別法の制定を含む4つのオプションが提示されている。また、埋蔵資源については、石炭(black coal)43カ所、褐炭が15カ所、天然ガスが11カ所、原油が4カ所、金属鉱床が19カ所等となっている。

## 大使館からのお知らせ

**ポーランド独立記念日の行進に関するお知らせ**

11月11日(水)は、当国の独立記念日にあたり、毎年、文化科学宮殿や三十字架広場、旧市街等の周辺において、大規模なパレードや集会が催されます。一昨年は、ワルシャワ市内等において行われたパレードの際、一部の暴徒がワルシャワ市内にあるロシア大使館の警備小屋を放火するなどの事態が発生し、昨年も参加者の一部が警察と衝突し多数の拘束者が出た経緯があります。

については、同日はパレード等が行われる周辺地域では十分ご注意くださいと共に、万が一、混乱する状況に遭遇した場合には、無用のトラブルを避けるためにもその場から速やかに離れるよう、ご留意願います。

なお、当日パレード(ワルシャワ市内)が実施されるルートについては、下記のリンク先もご参照下さい。

<https://marszniepodleglosci.pl/trasa2015.jpeg>

**大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起**

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

**東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

## 文化行事・大使館関連行事

**【開催中】展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

**【開催中】** 展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて, 日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面, 服装, 小道具, 楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

**【開催中】** ポーランドの日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市 博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 根付や屏風, 着物, 楽器, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: [http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi\\_wystaw/zapowiedzi\\_wystaw.html](http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html)

**【開催中】** 展示会「日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】

グリヴィツェ市にて, グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 茶道具, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: シロンスク県, グリヴィツェ市, ul. Dolnych Wałów 8a

詳細: <http://www.muzeum.gliwice.pl/>

**【開催中】** 日本文化デー ウッチ2015【11月3日(火)～7日(土)】

ウッチ市にて, 梅田良忠教授記念ポーランド日本語教育文化センター主催による『日本文化デー ウッチ2015』が開催中です。日本の映画上映のほか, 折り紙, 書道, 伝統的な遊びなどの日本文化紹介が予定されています。

開催場所: ウッチ県, ウッチ市, ul. Plac Wolności 14

詳細: <http://bunka.org.pl/index.php?lang=en>

**【開催中】** 日本の舞踏家【11月4日(水)～8日(日)】

ワルシャワ市にて, ポンプカ基金主催による公演シリーズ『日本の舞踏家』が開催中です。舞踏家の大野慶人氏がポーランドを訪問し, 以下の行事が予定されています。

7日 10時 ワークショップ (スタジオギャラリー)

8日 10時 ワークショップ (スタジオギャラリー)

8日 18時 パネル (アジア太平洋博物館)

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市

スタジオギャラリー, ul. Plac Defilad 1 (文化科学宮殿)

アジア太平洋博物館, ul. Solec 24

詳細: <http://www.fundacjapompka.org.pl>

**【予定】** 第9回ワルシャワ大学日本祭: 日本の文化と宗教における動物【11月16日(月)～18日(水)】

ワルシャワ市にて, ワルシャワ大学東洋学部日本学科主催による『第9回ワルシャワ大学日本祭: 日本の文化と宗教における動物』が開催されます。日本文化紹介及び学術発表, 各種式典が予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, ワルシャワ大学図書館, ul. Dobra 56/66

詳細: <http://japonistyka.orient.uw.edu.pl/dni-japonii/>

**【予定】陶器展【11月17日(火)～30日(月)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ワルシャワ生花会と陶芸家協会「ケラモス」共催による生け花と陶器の展示会が開催されます。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 - 584 - 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

**【予定】水曜映画上映会「春との旅」【11月25日(水)17:30～】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「春との旅」が開催されます（日本語音声、英語字幕）。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 - 584 - 73 00, Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
在ポーランド日本国大使館 [newsmail@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)